



いずみさの昔と今 第249回

「和泉監（いずみげん）・和泉国の成立と

諸目（もろめ）遺跡」

古代の令制国（りょうせいこく）に基づく旧国の成立期（7世紀後半～8世紀初）において、和泉国は比較的後の段階で確定した行政区域です。泉佐野市を含む大阪府南部地域は、もと河内国の一部でした。しかし霊龜2（716）年に大鳥郡、和泉郡、日根郡からなる「和泉監」が設置されて河内国から独立し（続日本紀）、これが和泉国の前身となりました。「監」という行政単位は「国」に準ずるもので、天皇、皇族の離宮の行政事務を所管しました。和泉監は和泉地方に存在した「珍努（ちぬ）宮」「和泉宮」を管轄しましたが、和泉監のほかに「監」が置かれたのは吉野宮を管轄した「芳野監」だけで、たいへん特殊な行政区だったことがわかります。和泉監はその後、天平12（740）年に、いったん河内国内に編入され、天平宝字元（757）年に和泉国として独立し、以後は千年以上も続きました。

宮内庁が管理する正倉院文書には、天平10（738）年の和泉監正税帳（いずみげんしょうぜいちょう）が遺存しています。その内容は和泉監日根郡衙（ぐ

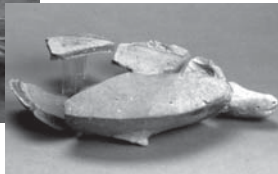
んが・郡の役所）における天平9（737）年度の正税「租税と出挙（すいこ）の利息」の収支報告書で、地方財政、管理法の実態のほか、正倉の配置、構造、規模などの具体的な様相を伝えています。さらにその当時に書かれた一次資料であること、改ざん防止のためほぼ全面に捺された「和泉監印」が、霊龜2（716）年5月に平城京の中央官庁から支給された印（続日本紀）である可能性が高いことなど、たいへんな資料的価値があります。

日根郡は近義（こぎ）郷、賀美（かみ）郷、呼喚（おほ）郷、鳥取郷の四郷（和名類聚抄（わみょうるいじゅうしょう））でみようるいじゅうしょう）で構成され、およそ現在の泉南地域、貝塚市から岬町までの地に相当します。これを管轄した日根郡衙の所在地については上之郷や、長滝の三軒屋（さんげんや）遺跡などが有力な候補地でした。ところが、平成24年に実施された長南小学校体育館の建替え工事に伴う諸目遺跡の発掘調査で、注目を集める成果が得られました。調査では奈良時代に属する複数の掘立柱建物跡が検出され、一般集落で

は持ちえない大型の土器類が多数出土しました。さらに全国でも類例のない須恵質の亀形土器も出土しています。これらの状況から諸目遺跡は古代の役所に関わる遺跡であると考えられます。諸目遺跡はその東に「日根荘日根野村荒野開発絵図」にも描かれた郡寺の可能性のある古代寺院、禅興寺跡が存在し、また古代の南海道からも近いと考えられる立地にあります。このことから、諸目遺跡は日根郡衙の一部を構成するもので、掘立柱建物群は正税を納めた正倉（しょうそう）とも考えられ、これらが和泉監正税帳の記載と深く関わりをもつ可能性が高まりました。



▼亀形土器



▲諸目遺跡の掘立柱建物群

秋季特別展 奈良の都と泉佐野

長南小学校の敷地にある諸目（もろめ）遺跡は、古代の役所に関わる遺跡であると考えられています。同じ頃の平城京と対比する形で出土した遺物をご紹介します。

期間 9月17日(土)～11月13日(日)
時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
※入館無料

秋の館長講演会 奈良の都と古代の泉佐野

日時 9月24日(土)
午後1時30分～3時（受付：1時～）
定員 60人（先着順）
講師 田邊征夫（館長）
申込 9月1日(木)以降に直接または電話で
※受講無料

レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの
☎469-7140 Fax469-7141

休館日 月曜日、祝日（祝日が月曜日の場合はその翌日、日曜日の場合はその翌々日）

開館時間 午前9時～午後5時
（入館は午後4時30分まで）

入館料 無料

◆歴史館いずみさのFacebookで情報発信中！

<http://www.facebook.com/rekishikan.izumisano/>

特別展、講演会の他にも、考古学講座やワークショップなどのイベント情報を発信しています。ぜひご覧ください！